



笑顔いっぱい いのちがやけ 花園の子

花園

小樽市立花園小学校

学校だより No. 8

令和6年10月28日 ↓ 本校 HP

☎ 25-5233
Fax 25-5234



手の届く場所に本を

校長 若林 晋

10月後半に入り、一気に秋が進み、紅葉も麓まで下りてきました。白い綿毛をまとった雪虫も見られるようになりました。学校の教材園も片づけが進んでいます。まもなく初雪が降り、冬の季節を迎えます。

さて、10月12日に開催した「学習発表会」には、多くの保護者の皆様にご観覧、そして、たくさんの拍手をいただきました。本当にありがとうございます。今年も観覧者の人数の制限なく実施することができました。各学年は、限られた練習時間の中で、学習発表会のめあて「全力・協力・努力で輝け！一人ひとりが一等星」をめざし取り組みました。10日の児童公開日では、1年生から6年生まで全員体育館にそろい、全学年の発表を観ました。それぞれ学年の成長に合わせた、ふさわしい内容であったと思います。そして、何より「自分の目で観る」「生の音を聞く」子どもたちが、自然に手拍子したり、拍手したり、笑ったりする。そこには、普段の教室での学習では得ることのできない大切な学びがあります。6年生が、児童公開の後に1年生から5年生までの発表に感想を寄せていました。各学級でその感想が紹介され、保護者公開日に向け、更なる励みにつながりました。花園小学校の子どもたち全員が行事を通して学び合い、一つにまとまった学習発表会でした。5、6年生は、22日に市民会館で開催された小樽市小学校音楽発表会に参加し、学習発表会の成果とリコーダー演奏を再び他校の児童・保護者の前で発表し、たくさんの拍手をいただきました。

「秋」には「スポーツの秋」「食欲の秋」等、まくら言葉がいろいろあります。「読書の秋」もその一つです。お子さんの読書の習慣は、いかがですか？読書は、学び考える力を身に付け、豊かな人間性を育む大切な役割を果たしています。子どもと本の出会いのためには、本がいつでもどこでも、身近なところにあることと、それを結び付ける大人による読み聞かせも、とても有効です。深まる秋に、親子で本をいつも手元において、気楽に読んでみてはいかがでしょうか？



それぞれの個が活かされた学習発表会！！

10月12日（土）に今年度の学習発表会を無事終えることができました。子どもたちは、「全力・協力・努力で輝け！～一人ひとりが一等星～」のテーマのもと、一所懸命本番を頑張ることができました。大勢の方々に子どもたちの頑張りをご覧いただき、児童一人ひとりの熱演に温かい励ましの拍手をたくさんいただくことができました。

1年生の劇「実況 花小あいさつ隊」からは「あいさつの大切さ」が、大きな声やかわいらしい演技から、しっかりと会場にいる皆さんに伝わったのではないのでしょうか。そして、6年生の音楽劇「サウンドオブ ミュージック」からは音楽の素晴らしさや力に屈しない心の強さが伝わってきました。

原作に迫る美しい歌や音楽、そして演技であっという間にエンディングを迎えました。1年生から6年生の成長した姿を目の当たりにすることで、小学校生活6年間の素晴らしさと大切さをあらためて感じることができる良い機会となりました。



ホエム

全校で取り組んだ「小樽こどもの詩コンクール」！

今年は、花園小から3点の作品が選ばれました！！

今年の花園小学校では、すべての学級からエントリーし、市内4,781点の中から、銅賞1点、優良賞2点が選ばれました。豊かな感性を発揮し、とても素晴らしい作品ばかりでした。

【低学年の部】

銅賞 3年生：「海」

優良賞 3年生：「ぶんだんげこう」

【高学年の部】

優良賞 6年生：「アルバム」

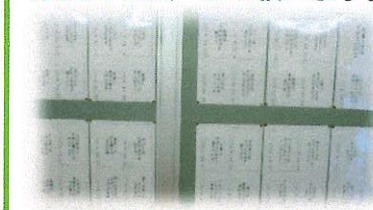


6年生が「学び推進月間」標語にチャレンジしました！

北海道学び推進月間期間（11月1日から11月30日）にあわせ、6年生が学びについての思いを標語にしてみました。作品を職員室前の掲示板で紹介していますので、個人面談等で学校にお越しの際、ぜひご覧ください。

本校では、家庭学習の時間を『学年×10+10』分を目安としています。

ぜひ、家庭学習の取組を充実することができるよう、ご家庭でもお声かけ願います。



廊下に掲示してある作品

家庭学習

【低学年】20～30分

●宿題を中心に家庭学習の習慣をつけましょう。

【中学年】30～40分

●宿題のほかに、自主学習ができるようにしましょう。

【高学年】1時間以上

●宿題のほかに、その時々に自分の興味や必要性のある自主学習を半分ほど入れましょう。

花園小スタンダードから

子どもとの時間をご家庭でどのように過ごされていますか？

10月23日（水）18：30から小樽市民センターで小樽市PTA連合会の教育講演会が行われました。講師の北海道教育大学教職大学院特任教授の大牧眞一氏から『「教育」から「共育」へ～子どもからのメッセージ～』を演題に、ご自身の教育に関わる知識と経験からご講話をいただきました。

その中で「家庭で親子の会話はどれくらい」「最近子どもをほめたことは」「言われて嬉しい言葉ベスト3」等、家庭で子どもと過ごす時間の大切さに関する内容に参加している保護者の皆様もうなずきながら聞いていました。「子どもが成人し、社会人となって親元を離れるまでの時間が宝物」という言葉がとても心に残りました。これからも、子どもたちの成長を共に支えていただきたいと思います。

*「親子のための相談LINE」という窓口が北海道のHPにありますので、子育てで何か悩んだり困ったりした時に、ぜひご利用ください。